

水生生物による水質調査結果



高松市立大野小学校 「香東川」

平成28年度

かがやくけん、かがわけん。

香川県

はじめに

水生生物調査については、身近な存在である川に対して関心を高めていただくことを目的として、昭和 60 年度から毎年実施しています。

本冊子は、平成 28 年度に香川県内の河川において、小・中・高校生や地域の皆様に行っていただいた水生生物による水質調査結果をまとめたものです。

この調査を機に身近な水への理解をより一層深めていただき、私たちを取り巻く水環境を守っていくために、私たち一人ひとりが何をすべきかを考えていくきっかけになればと考えています。

最後にこの調査にご参加、ご協力いただいた皆様方に心からお礼申し上げます。

1. 調査実施状況

(1)参加者 参加者は、表 1 に示した 25 団体(小学校 15 校、中学校 3 校、高等学校 3 校、その他 4 団体)の計 785 人である。

<表 1> 調査団体一覧(平成 28 年度)

	団体・学校名	人数	調査河川
1	東かがわ市立白鳥小学校	30	湊川
2	東かがわ市立福栄小学校	6	湊川
3	東かがわ市立大内小学校	70	与田川・笠松川
4	さぬき市立造田小学校	30	鴨部川
5	土庄町立土庄中学校 科学部	11	伝法川
6	高松市環境指導課	3	春日川・葛谷川・本津川
7	香川大学 総合生命科学研究センター	1	吉田川・氏の宮川・内場川
8	高松市立大野小学校	79	香東川
9	香川県立高松商業高等学校 科学部	10	香東川
10	高松市環境保全推進課	23	内場川
11	綾川町立羽床小学校	28	綾川
12	綾川町立綾上小学校	29	綾川
13	綾川町立綾上中学校	17	綾川
14	坂出市立府中小学校	32	綾川
15	宇多津町立宇多津小学校	88	大束川
16	香川県大手前中学・高等学校 理科部	23	土器川
17	香川県立飯山高等学校 自然科学部	16	土器川
18	香川県立多度津高等学校 生物科学部	5	金倉川
19	多度津町立豊原小学校	83	金倉川
20	多度津町立四箇小学校	65	弘田川
21	高瀬町公民館	27	高瀬川
22	三豊市立麻小学校	21	高瀬川
23	三豊市立上高瀬小学校	35	高瀬川
24	三豊市立大見小学校	24	西川
25	三豊市立吉津小学校	29	瀬入川
	合 計	785 人	20 河川

(2)調査方法 「川の生きものを調べよう 水生生物による水質判定」(環境省)に基づき、水の中にすむ生き物(指標生物)を調べることにより、水のきれいさの程度を水質階級Ⅰ～Ⅳの4階級に分け、判定する調査である。

(3)調査期間 平成28年6月8日～10月13日

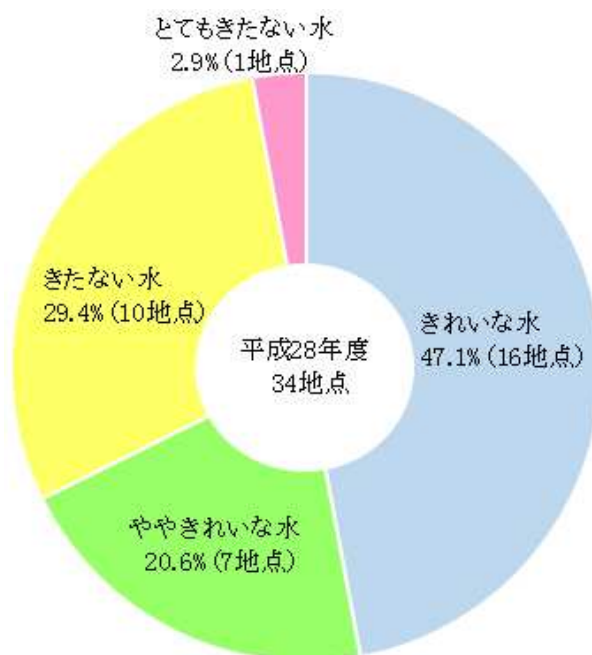
(4)調査地点 各調査団体が、地域において選定した20河川34地点で調査を行った。

2. 調査結果

(1)水質階級別調査地点数の割合

水質階級別調査地点数は、図1に示すとおり、水質階級が“きれいな水”と判定された地点は16地点(47.1%)、“ややきれいな水”と判定された地点は7地点(20.6%)であった。

一方、“きたない水”と判定された地点は10地点(29.4%)、“とてもきたない水”と判定されたのは1地点(2.9%)であった。



<図1>水質階級別調査地点数の割合

(2)前年度に対する水質階級の比較

平成28年度の調査地点34地点のうち26地点が平成27年度と同じ地点での調査であった。これらの26地点の水質階級を比較すると、同じであったところが19地点、良くなったところが3地点、悪くなったところが4地点であった。(表2)

<表2> 前年度に対する水質階級の比較 (前年度と同一地点で実施された地点の比較)

	前年度より良くなった	前年度と変わらない	前年度より悪くなった	全地点数
調査地点数	3	19	4	26
割合 (%)	11.5	73.1	15.4	100

(3)水生生物調査結果一覧

水生生物調査結果一覧を表3に示す。

(4) 指標生物の出現状況

指標生物の出現頻度及び最も数が多いと報告された指標生物(優占種)の出現頻度は、表 4 のとおりである。

＜表 4＞ 指標生物の出現頻度及び優占種となった指標生物の出現頻度

水質階級	指標生物	指標生物(○+●)		出現割合(%)	優占種(●)	
		頻度(回)	割合(%)		頻度(回)	割合(%)
I きれいな水	1 アミカ類	0	0.0	32.3	0	0.0
	2 ナミウズムシ	12	5.2		4	5.9
	3 カワゲラ類	9	3.9		2	2.9
	4 サワガニ	8	3.4		5	7.4
	5 ナガレトビケラ類	10	4.3		1	1.5
	6 ヒラタカゲロウ類	15	6.5		8	11.8
	7 ブユ類	4	1.7		0	0.0
	8 ヘビトンボ	1	0.4		1	1.5
	9 ヤマトビケラ類	8	3.4		2	2.9
	10 ヨコエビ類	8	3.4		2	2.9
II ややきれいな水	11 イシマキガイ ※	4	1.7	32.3	1	1.5
	12 オオシマトビケラ	11	4.7		2	2.9
	13 カワニナ類	11	4.7		4	5.9
	14 ゲンジボタル	1	0.4		0	0.0
	15 コオニヤンマ	7	3.0		0	0.0
	16 コガタシマトビケラ類	11	4.7		2	2.9
	17 ヒラタドロムシ類	20	8.6		9	13.2
	18 ヤマトシジミ ※	10	4.3		0	0.0
III きたない水	19 イソコツブムシ類 ※	1	0.4	22.8	0	0.0
	20 タニシ類	12	5.2		4	5.9
	21 ニホンドロソコエビ ※	4	1.7		2	2.9
	22 シマイシビル	15	6.5		5	7.4
	23 ミズカマキリ	10	4.3		4	5.9
	24 ミズムシ	11	4.7		4	5.9
IV とてもきたない水	25 アメリカザリガニ	2	0.9	12.5	0	0.0
	26 エラミズ	10	4.3		2	2.9
	27 サカマキガイ	6	2.6		1	1.5
	28 ユスリカ類	8	3.4		3	4.4
	29 チョウバエ類	3	1.3		0	0.0
合 計		232	100	100	68	100

(注) ※は、海水の少し混ざっている汽水域きすいいきの生物

(注) 割合については四捨五入のため、合計が 100%にならないことがある。

水生生物による水質調査結果(平成 28 年度)

発行 香川県環境保健研究センター

〒760-0065

香川県高松市朝日町五丁目 3 番 105 号

☎087-825-0400